

コモディティ投資の現状

「商品デリバティブズ市場」 補足資料

2007年11月7日(水)

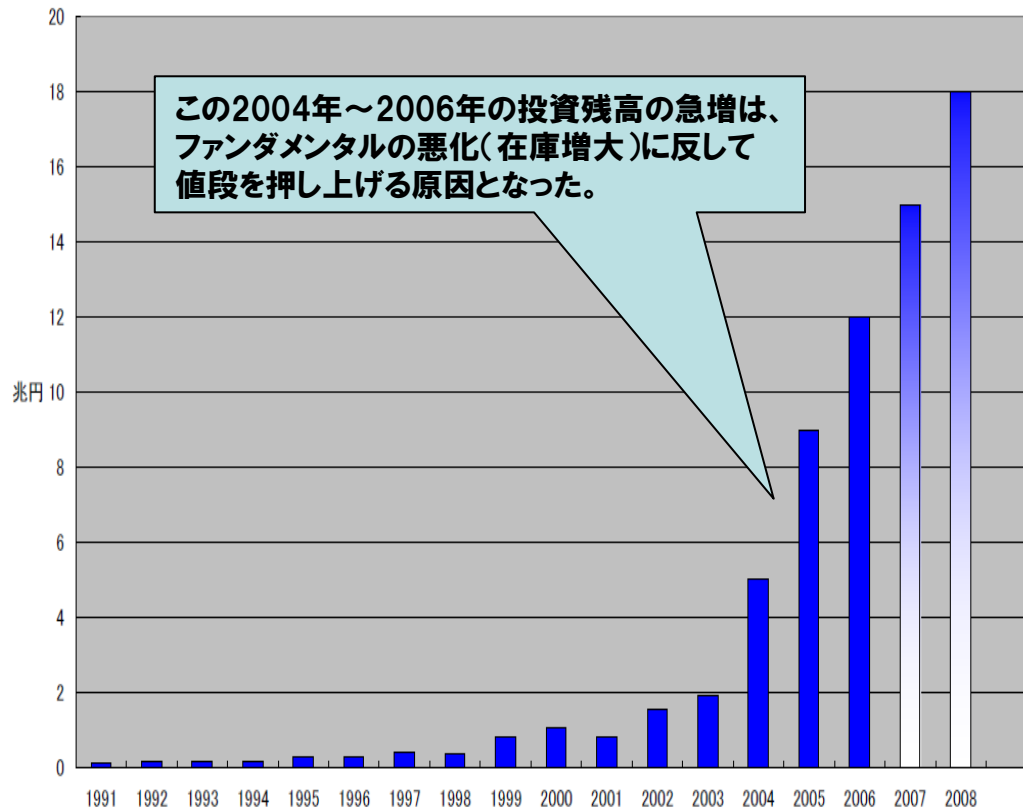
住友商事株式会社

コモディティ投資拡大①

コモディティインデックス投資残高(推定)

機関投資家(年金等)によるコモディティインデックス投資残高
(推定)

Source: 住商推定

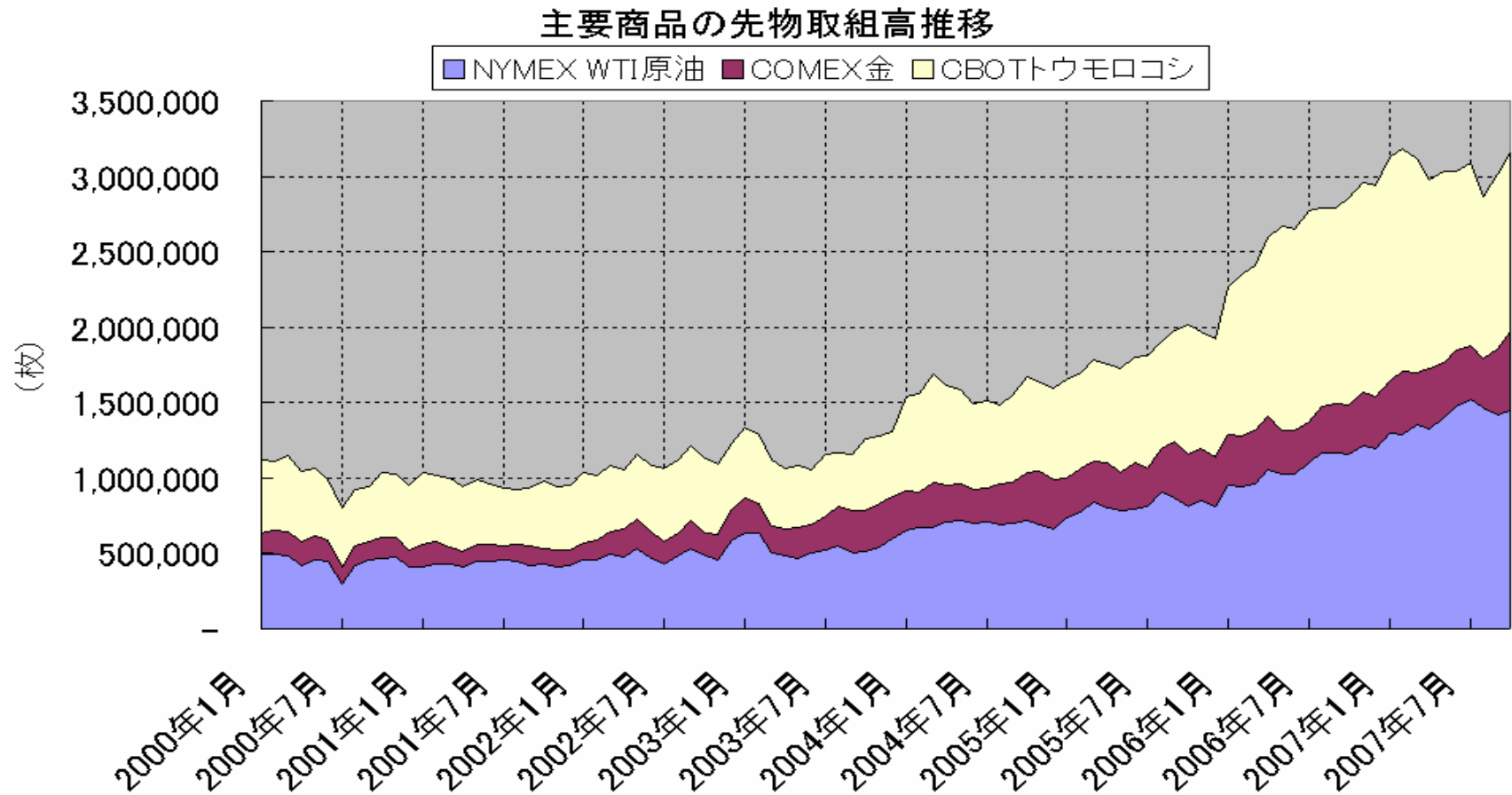


この2004年～2006年の投資残高の急増は、
ファンダメンタルの悪化(在庫増大)に反して
値段を押し上げる原因となった。

- 左はコモディティインデックスに対する投資残高の推移(推定)グラフである。
- 縦軸単位は10億ドルで、**現在の投資残高は約12兆円程度(1000億ドル)**と推定される。
- 対して、ヘッジファンドや商品投資顧問業者(CTA)は、比較的短期的な“投機”を最大で1兆円弱で行う参加者であり、短期価格変動の背景にはなるが長期トレンドにおいては影響度低い。
- 他方、年金系は長期的リターンを求めため、根雪のように相場に影響し続ける傾向あり。

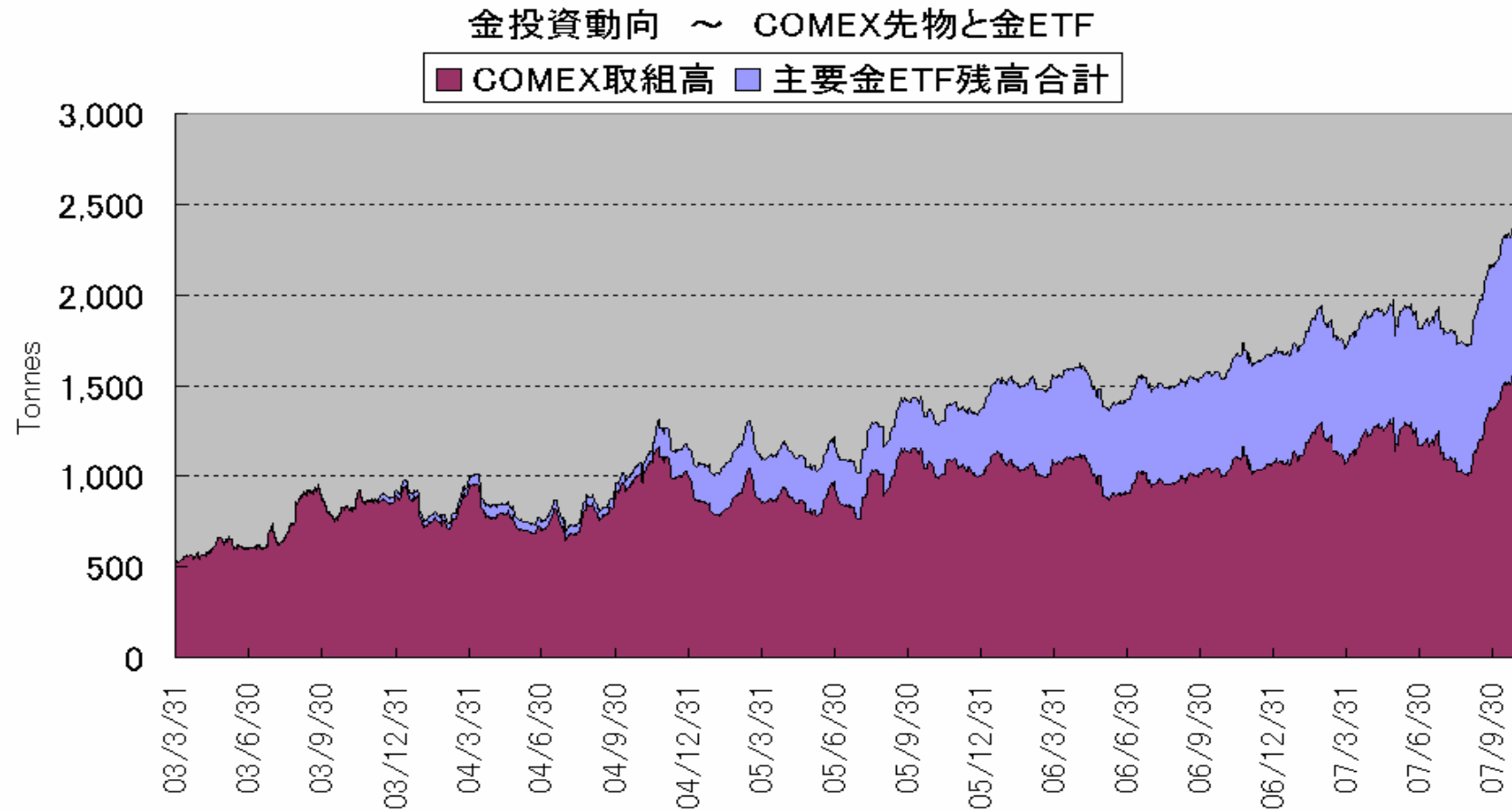
コモディティ投資拡大②

米国先物市場における主要商品の取組高は過去2年で2倍増



コモディティ投資拡大③

金ETF … 米国先物市場に見劣りしない規模に成長

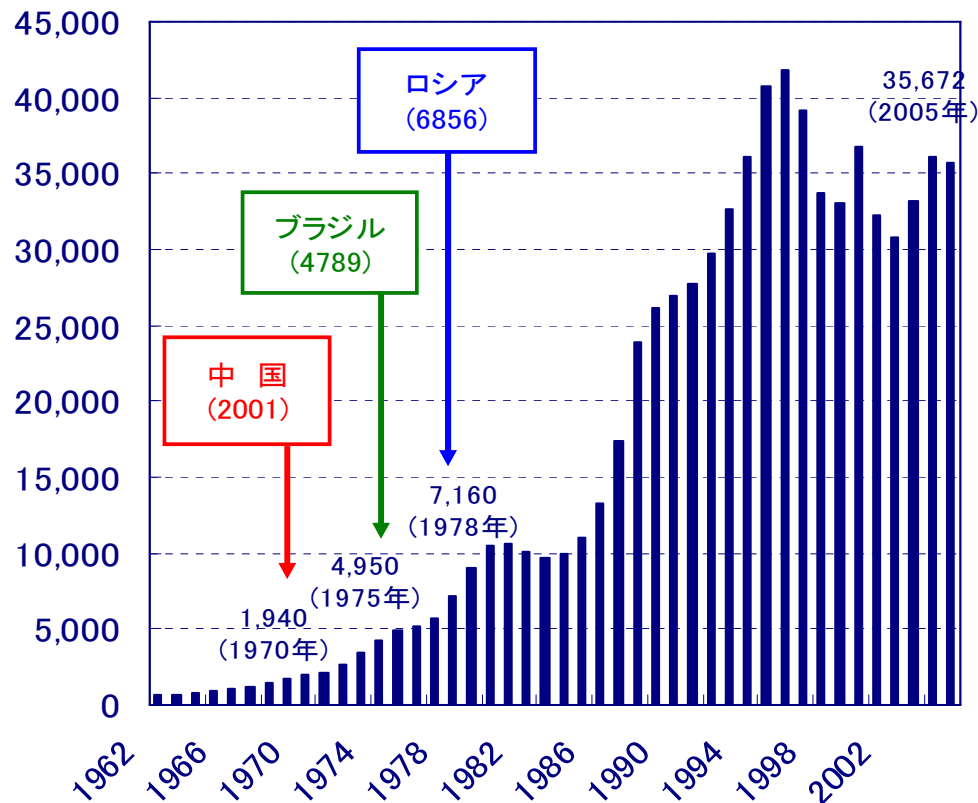


※金ETF残高 = 米StreetTRACKS、iShares、Lxyor、ZKB、ETF Securities合計 4

コモディティが注目される理由①

BRICS経済はまだまだ発展余地が大きい

〔 1人当りGDPで見た発展段階 〕 (2006年、ドル)



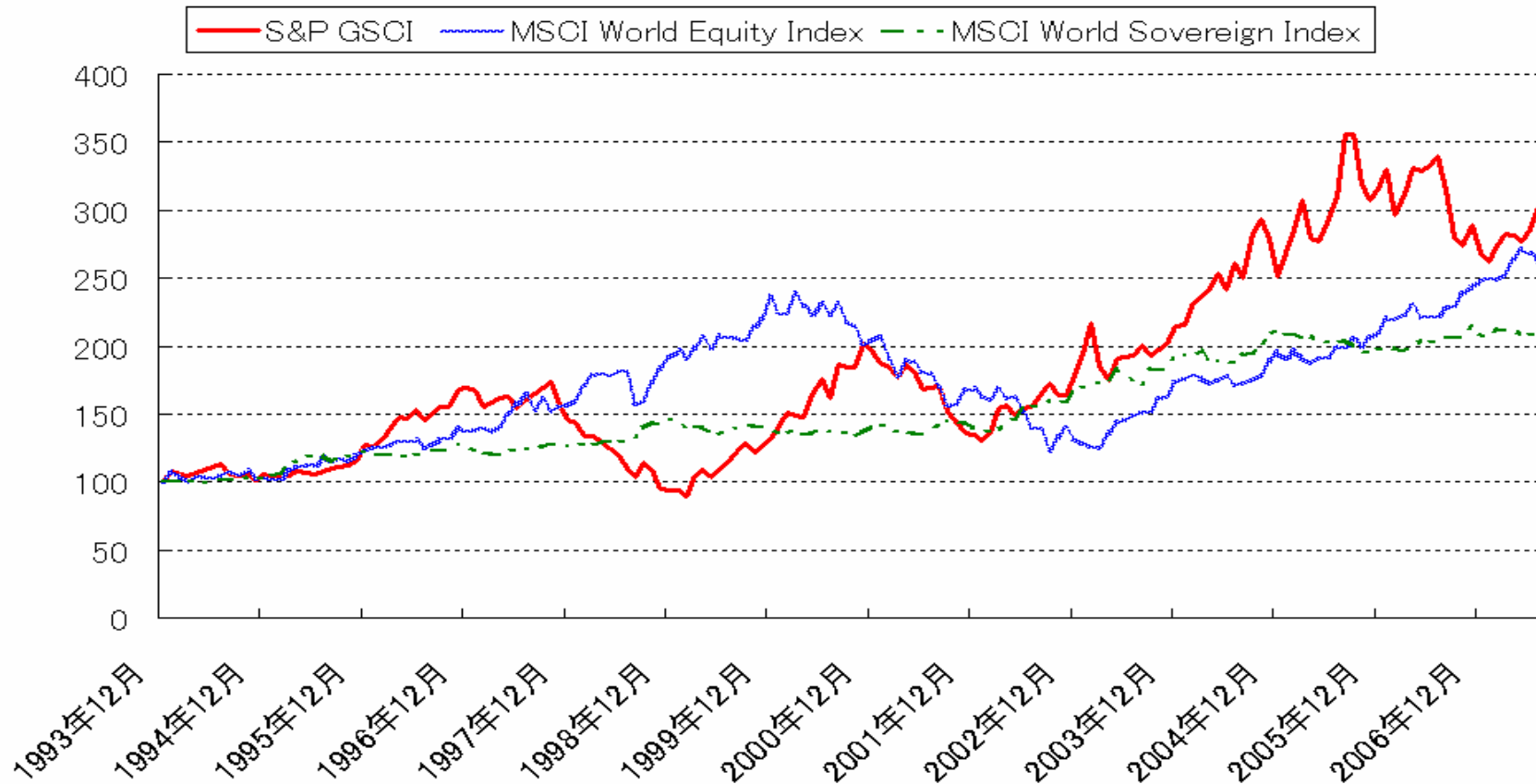
注)棒グラフは日本
出所)世界銀行等より住商総研作成

- 一人当たりのGDP各国比較。青い棒グラフは日本のデータ。
- 日本の一人当たりGDP成長の過去データに現在のBRICsの水準をプロットしたもの。
- 中国その他、まだまだ一人当たりGDPは少なく、しかも、その人口は日本よりはるかに多い。
- BRICS経済の更なるポテンシャルは大きさが窺い知れる。中国は2桁成長を継続中。
- 数年～数十年単位のシナリオとして、この経済発展に伴う商品需要を賄えるだけの供給の伸びが見込みにくい

コモディティが注目される理由②

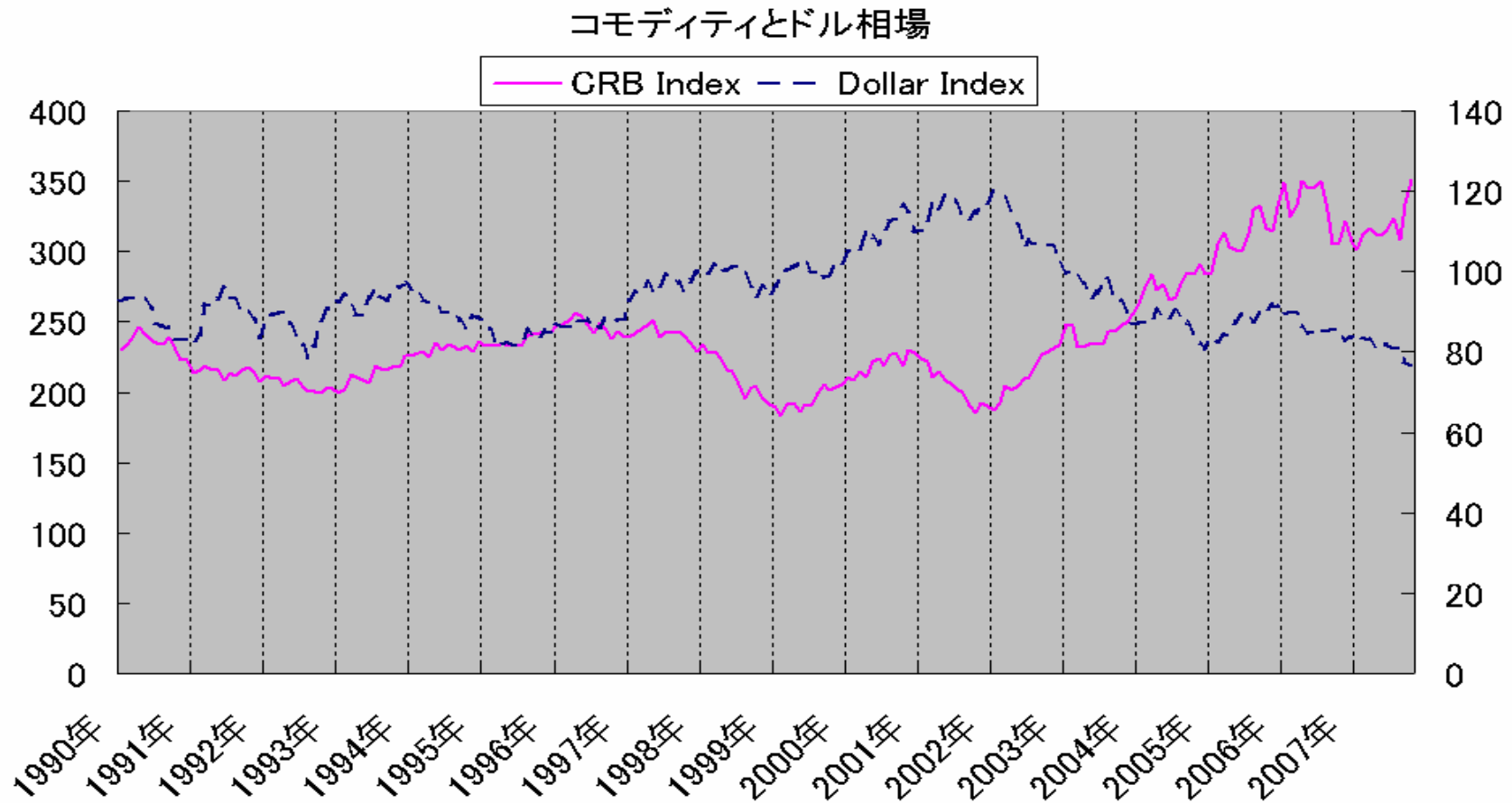
価格上昇率の高さ、金融資産との非相関性

近年の各アセットクラスのパフォーマンス（いずれもトータルリターン）

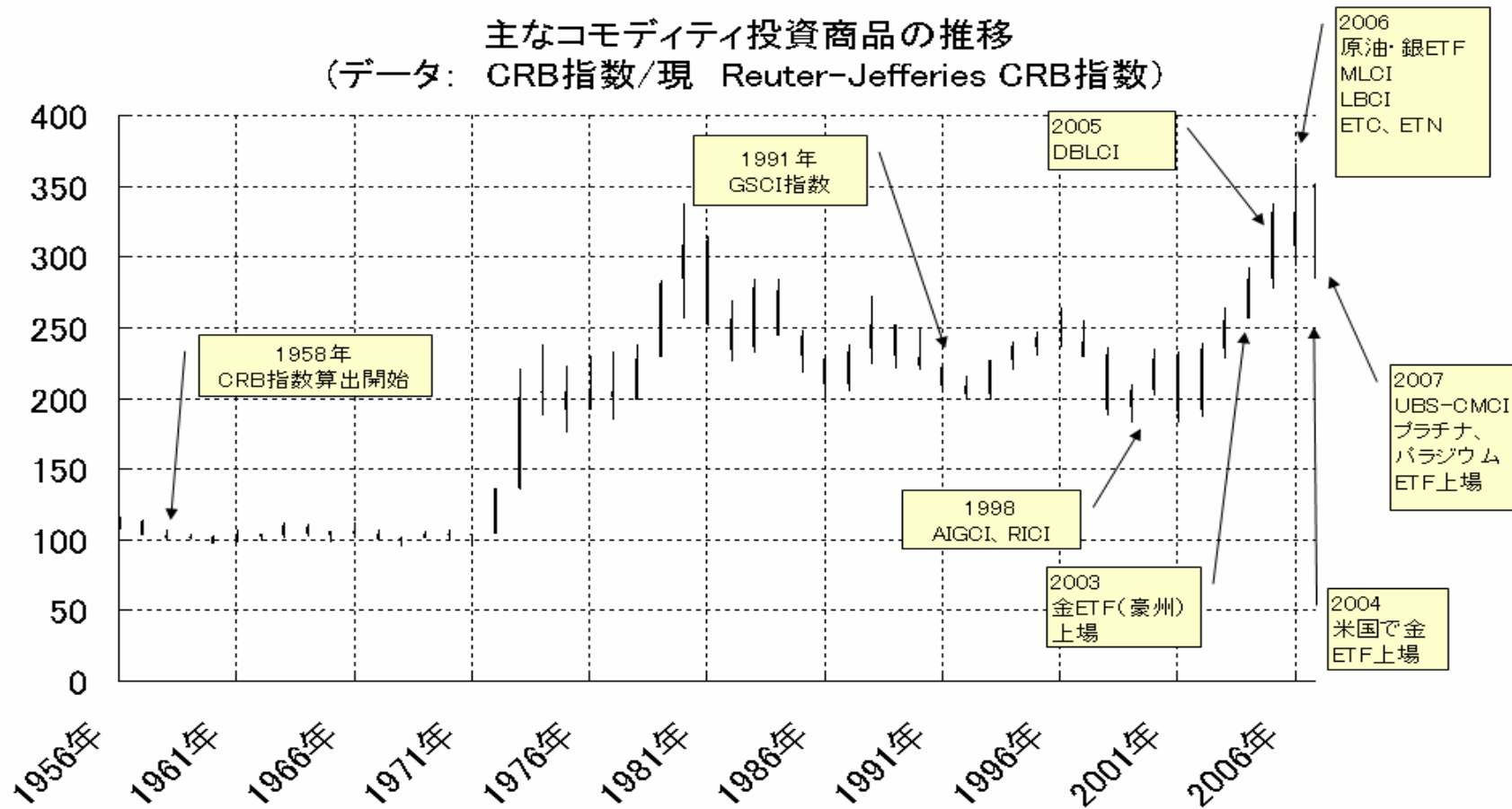


コモディティが注目される理由③

ドル安、インフレ、イベントリスクに対するヘッジ効果



コモディティ投資商品が次々に誕生



機関投資家のコモディティ投資動向

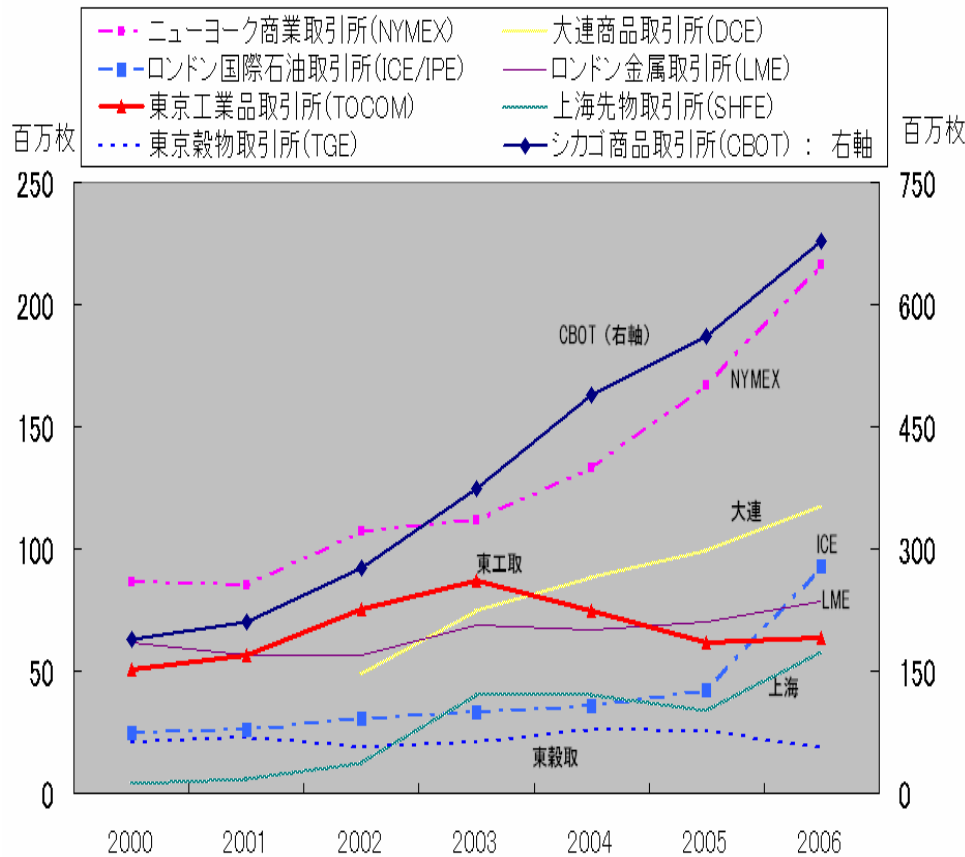
(Morgan Stanley資料＋メディア記事より住商まとめ)

- ABP, Netherlands; since 2001, 2.5% of assets ... €4,500m
 - PGGM, Netherlands: since 2000, 4-5% of assets ... €3,000m
 - Ontario Teachers: since 1997, 3.5% of assets ... \$3,000m
 - Harvard Endowment: >10years, 13% in real assets ... \$3,000m
 - PIMCO(Commodity Fund): since 2001 ... >\$3,000m
 - Hermes (Commodity Fund): since 2006 ... >£1,000m
 - BGI(Commodity Fund): since 2004 ... >£500m
 - PME, Netherlands: since 2004 ... €750m
 - Bedfordshire CC PF, UK : allocating in 2005/6 £75m
 - NEMA, Ireland: plan allocation of 1-3% of assets ... €270m
 - NZ SuperAnnuation Fund, NZ, 5% of assets ... \$260m
- **CalPERS (米) 運用資産合計2300億ドル。2006年11月に商品投資を正式に承認、GSCIなどで試験運用中。今後比率拡大の方針**
- **Fonds de Reserve pour les Retraites (FRR), 今年から商品投資を試験的に開始し、高収益を上げる。総額20億ユーロの商品投資を計画中で、現在金融機関の選択中（10/18ロイター）。**

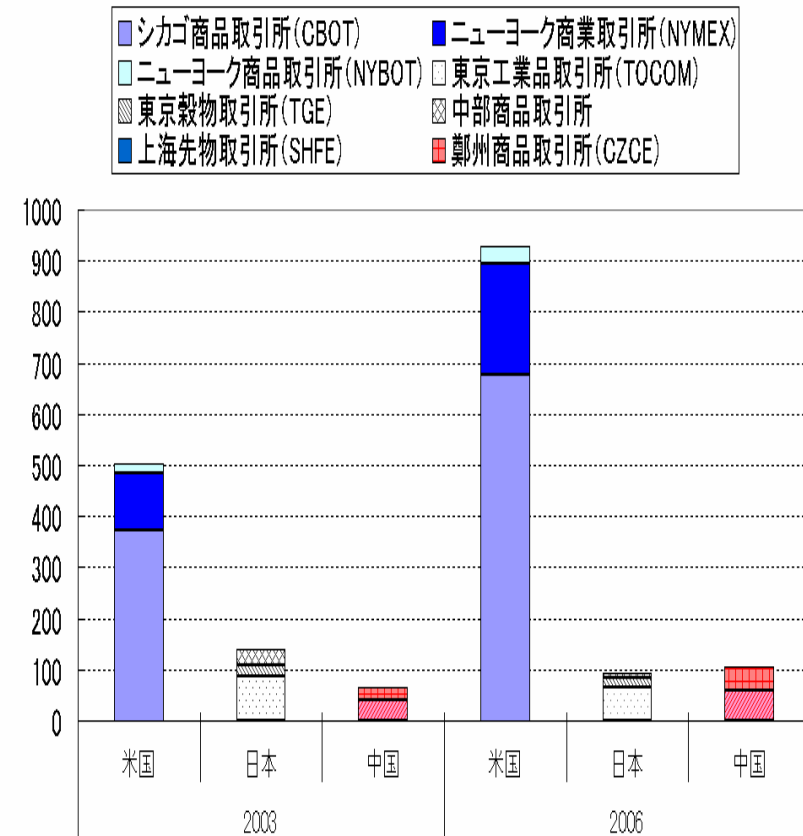
主要商品取引所の出来高推移

日本国内市場の不振が目立つ

主要取引所の出来高推移

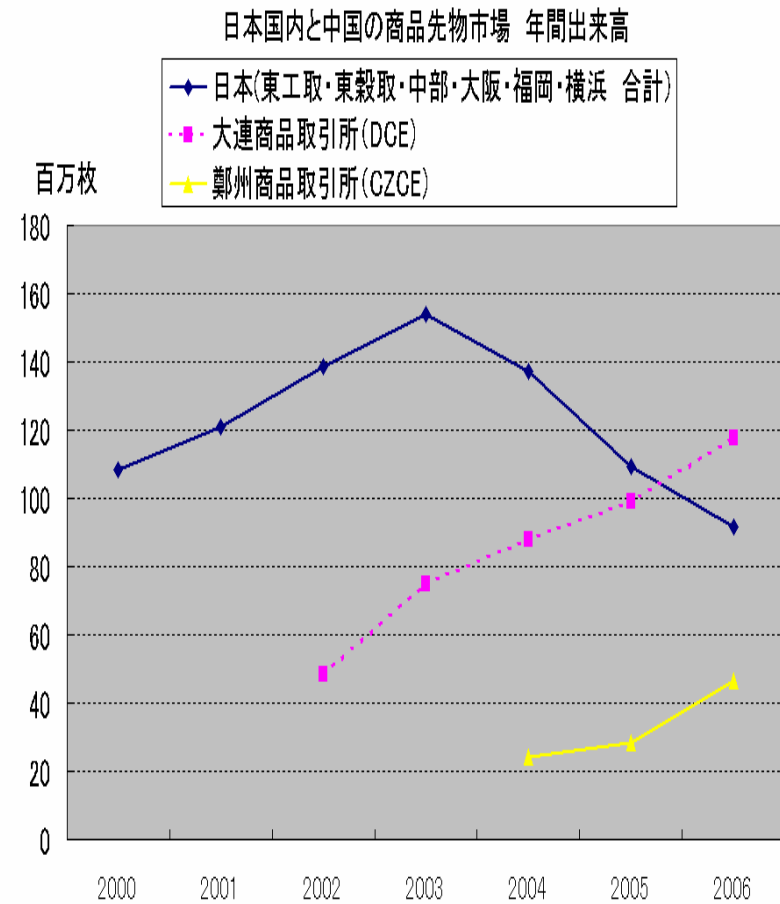
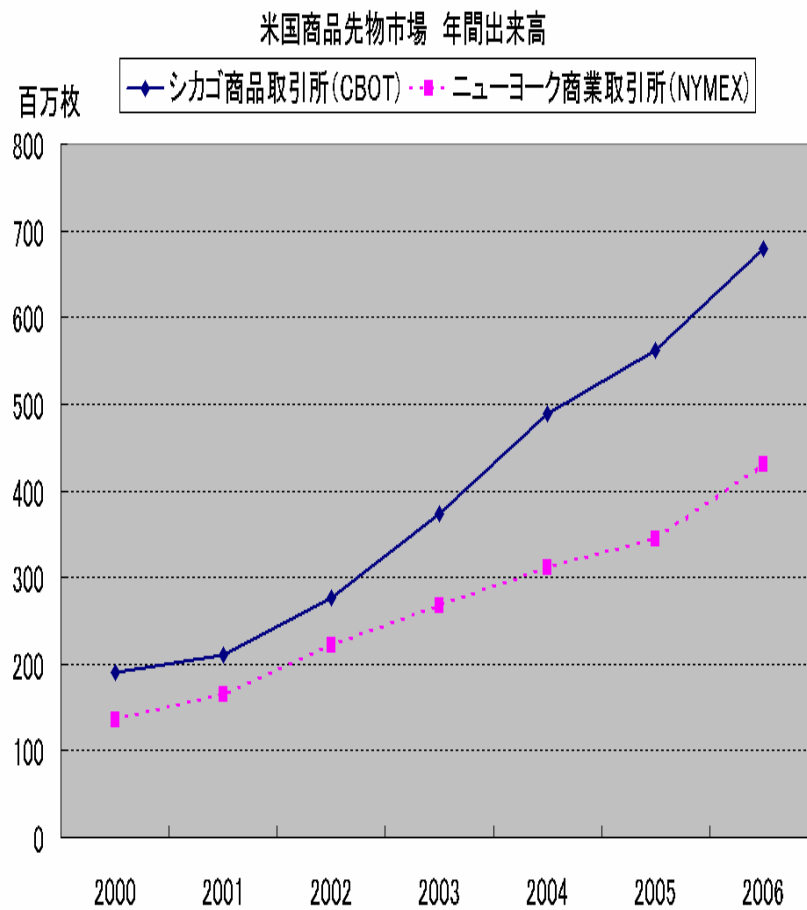


日米中の主要商品先物市場 年間出来高 (単位: 百万枚)



資料: FIA

主要取引所の年間出来高推移



資料： FIA